

平成8年5月

宇宙科学研究所の科学衛星の進捗状況

文部省宇宙科学研究所

MUSES-B 1996. 9 工学実験 M-V-1	現在相模原キャンパスの宇宙科学研究所本部において衛星システムの総合試験中である。これは8月初めまでつづき、8月中旬からの内之浦における総合オペレーションを経て、9月10日（30日まで予備日）に打上げ予定。臼田宇宙空間観測所のテレメトリ・システムの最終立上げ、相関器の運用準備が始まっている。国際スペースVLBI観測は、観測提案を受けつつ審査し、打上げ後の観測計画を練っている。
LUNAR-A 1997. 夏 月の内部構造 M-V-2	平成9年度の打上げをめざしてフライト・モデル（FM）を製作中。現在は、一次噛み合わせを実施中。ペネトレータ本体については、貫入時の環境を模した打込み試験を神岡鉱山坑道内のペネトレータ発射装置を用いて行っている。なお打上げまでにさらにフライト品総合試験納入試験的なものとしてさらに3回の実験を予定している。
PLANET-B 1998. 夏 火星大気／ワカ M-V-3	平成8年度からFM2年次となる。現在搭載機器のFM設計が概ね終了し、FM製作に移行しており、スケジュール通りに衛星開発は進んでいる。平成9年3月からFM一次噛み合わせ試験、平成9年10月からFM総合試験が開始される予定である。その後打上げ場での作業に入る。
ASTRO-E 2000. 初 X線天文学 M-V-4	平成6年度に開発研究、平成7・8年度に試作を行っている。基本設計は終了し、現在詳細設計を進めている。今年度内に重要項目の試作による確認を行い、平成9・10・11年度でFMの製作と総合試験を実施し、打上げ作業に入る。
MUSES-C 2002. 初 小惑星探査 M-V-5	小惑星や彗星等の始原天体から、岩石・土壌等のサンプルを採取して地球に持ち帰るミッションに必要な電気推進系、惑星間自律航法、サンプル採取、地球大気再突入及び回収等の技術の修得を目的として、平成13年度に打ち上げることを目標に、平成8年度から開発に着手した。